

製品名: HPK1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12193

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	91kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP4K1
別名	MAP4K1; HPK1; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 1; Hematopoietic progenitor kinase; MAPK/ERK kinase kinase kinase 1; MEK kinase kinase 1; MEKKK 1
遺伝子 ID	11184.0
SwissProt ID	Q92918
免疫原	抗血清はヒト MEKKK1 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 371-420

背景

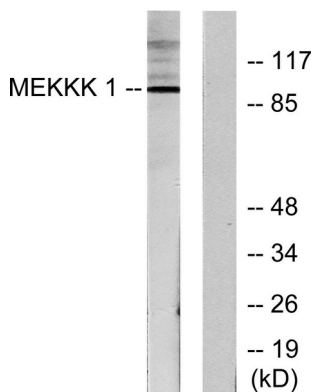
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 環境ストレスへの応答において役割を

果たす可能性があります。JUN N 末端経路の上流で作用するようです。造血系譜の決定と成長の調節において役割を果たす可能性があります。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1つのCNHドメインを含みます。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: MAP3K1と相互作用します。組織特異性: 主に骨髄、脾臓、胸腺などの造血器官で発現します。肺、腎臓、乳腺、小腸にもごく微量に発現している。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 環境ストレスへの応答において役割を果たす可能性がある。JUN N 末端経路の上流で作用すると考えられる。造血系譜の決定と成長調節において役割を果たす可能性がある。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1つのCNHドメインを含む。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット: MAP3K1と相互作用する。組織特異性: 主に骨髄、脾臓、胸腺などの造血器官で発現している。肺、腎臓、乳腺、小腸にもごく微量に発現している。、

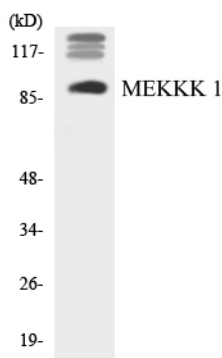
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

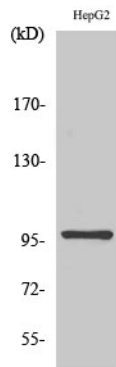
画像データ



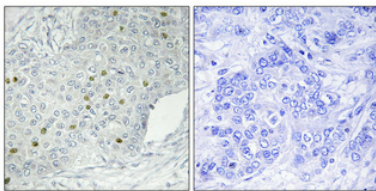
MEKKK 1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



MEKKK 1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタン ブロット分析。



HPK1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。